



はじめに

この度は PRIMARE プリメインアンプ I15 をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本取扱説明書には、本機設置や操作について重要な情報が含まれています。本説明書をお読みの上、設置や操作の詳細について充分にご理解いただき、正しくご使用の上、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

開梱

箱から商品を取り出して、中身を確認してください。

欠品がありましたら、直ちにお買い上げいただいた販売店に連絡してください。

本体	1台	電源ケーブル	1本
リモコン (単4乾電池×2)	1個	電源ケーブル用 2P/3P 変換プラグ	1個
Trigger ケーブル	1本	取扱説明書 (本紙)	1冊
検電器 (単4乾電池×2)	1個	保証書	1部

【エージングについて】

本製品は 24 時間のエージング後に良い音を出し始めます。さらに 3 日間のエージングで、音質はより向上していきます。

【ご注意】

リモコンを使用する前に付属の電池をリモコン本体にセットしてください。背面カバーをゆっくり押しスライドさせ、カバーを開いてください。極性に注意して乾電池をセットし、背面カバーを元の位置に戻した後、カチッと音がするまで押し込んで、リモコン本体にカバーをはめ込んでください。

【ご注意】

電池を交換する際は、1.5V アルカリ電池タイプ単四または同等品と交換してください。また古くなった乾電池は、環境に配慮し、お住まいの市町村の指示に従って適切に廃棄してください。

【ご注意】

ディスプレイガラスに保護フィルムが付いています。より鮮明なディスプレイのためにフィルムをはがしてください。このフィルムは強力についているため、ディスプレイの端から少し強めに爪などで剥がすようにしてください。

使用上の注意

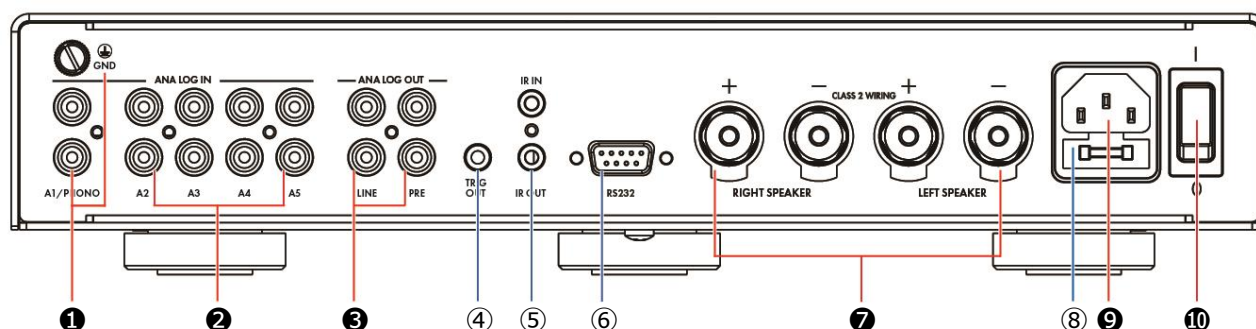
本機の性能を十分に引き出し、また安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。

- ◆ 分解、改造等は絶対にしないでください。法律で罰せられる場合があります。また改造等により発生した不具合は、保証の対象外となります。
- ◆ 本体カバー及びリアパネルは絶対に取り外さないでください。感電の恐れがあります。またお客さまによる修理は大変危険ですので、絶対にお止めください。故障・不具合が疑われる場合は、お買い上げいただいた販売店に修理を依頼してください。
- ◆ 使用する際、暖房器具などラジエーターを搭載した機器と本機との間に 20cm 程度のスペースを確保してください。
- ◆ 適切な機器とのみ接続してください。機器との接続に疑問がある場合は、お買い上げいただいた販売店等にご相談ください。
- ◆ ラックやスタンドを使用する場合は、オーディオ機器対応の製品を使用してください。また機器を載せた状態でラックやスタンドを移動させる場合は、転倒しないようご注意ください。
- ◆ クリーニングする場合は乾いた柔らかい布で拭いてください。研磨剤・溶剤等の入った洗剤を使用しないでください。またクリーニングする場合は、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- ◆ 以下の場所には設置しないでください。火災や感電の恐れがあります。
 - ・火気、可燃物の近く
 - ・子どもの手の触れる場所
 - ・ベッド、ソファ、ラグ、カーペット等の柔らかい素材の上
 - ・本棚、物置き、キャビネット等の閉じた空間の中
 - ・キッチン、バスルーム、洗面所、プールサイド等、液体物の近く(水等の液体を近づけないでください)
 - ・ストーブ、ヒーター、暖炉、その他発熱する機器(アンプを含む)等、暖房器具の近く
 - ・直接日光があたる場所、風通しの悪い場所、埃の多い場所、極端に暑い場所、寒い場所、湿度の高い場所
- ◆ 本機に物を落としたり、液体物を噴霧したりしないようご注意ください。故障の原因になります。
- ◆ オーバーヒートを防ぐため、周囲に十分なスペース(最低 50mm)を確保してください。また本機の上に直接物を置かないでください。
- ◆ AC100V 以外の電圧では使用しないでください。また付属の電源ケーブルは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- ◆ 電源ケーブルは、結んだり、巻き付けたり、踏んだりしないようご注意ください。火災や感電の恐れがあります。また本体主電源 ON/スタンバイモードの場合も、本体には微量の電流が流れ込んでいます。落雷の恐れがある場合や長期間使用しない場合は、本体主電源を OFF にして、電源ケーブルを抜いてください。
- ◆ 電気配線(電力線)の近くに、アウトドア用のアンテナを設置しないでください。
- ◆ ヒューズを交換する場合は、同じ定格のヒューズを使用してください。
- ◆ 寒い場所から暖かい場所に急に移動させると、内部で結露を起こします。移動させる場合は、最低 1 時間は電源を入れずに待ち、室内温との差がなくなってから電源を入れてください。
- ◆ 煙が出ている、異臭がする、異音がする等の異常が確認された場合は、直ちに本体の電源スイッチを切り、必ず電源ケーブルを壁コンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の恐れがあります。速やかにお買い上げいただいた販売店に修理を依頼してください。

各部説明

リアパネル

※図中の番号は下記の説明文の番号を表しています。



① ANALOG IN/GND	■ I15 の場合 A1 : RCA (アンバランス) アナログ入力端子
	■ I15 ANALOG の場合 PHONO : RCA (アンバランス) トーンアームケーブル専用アナログ入力端子 ※トーンアームケーブルのアース線は、上部の GND (グラウンドターミナル) に接続してください。
② ANALOG IN	A2 - A5 : RCA (アンバランス) アナログ入力端子
③ ANALOG OUT	LINE : RCA (アンバランス) アナログ出力端子 ※ラインアウト出力 PRE : RCA (アンバランス) アナログ出力端子 ※プリアウト出力
④ TRIG OUT	Trigger 出力端子を備えた機器と連動して、電源 ON/OFF が可能
⑤ IR IN/OUT	IR 入出力端子を備えた機器と連動して、電源 ON/OFF が可能
⑥ RS232	コントロール端子
⑦ SPEAKER OUT	スピーカー出カターミナル
⑧ AC FUSE HOLDER	ヒューズホルダー
⑨ AC INPUT	IEC 電源コード差込口
⑩ POWER ON/OFF	本体主電源の On/Off を行います。

【RS232 と Trigger について】

RS232 input により、本機をコントローラシステムに接続することができます。専用ケーブル (null modem) が必要です。専門店にご相談ください。

また Trigger OUT (出力) を使用して、本機から CD15 など、他の装置の電源を入れることが可能です。

フロントパネル



SELECTOR : 入力を切り替えます。

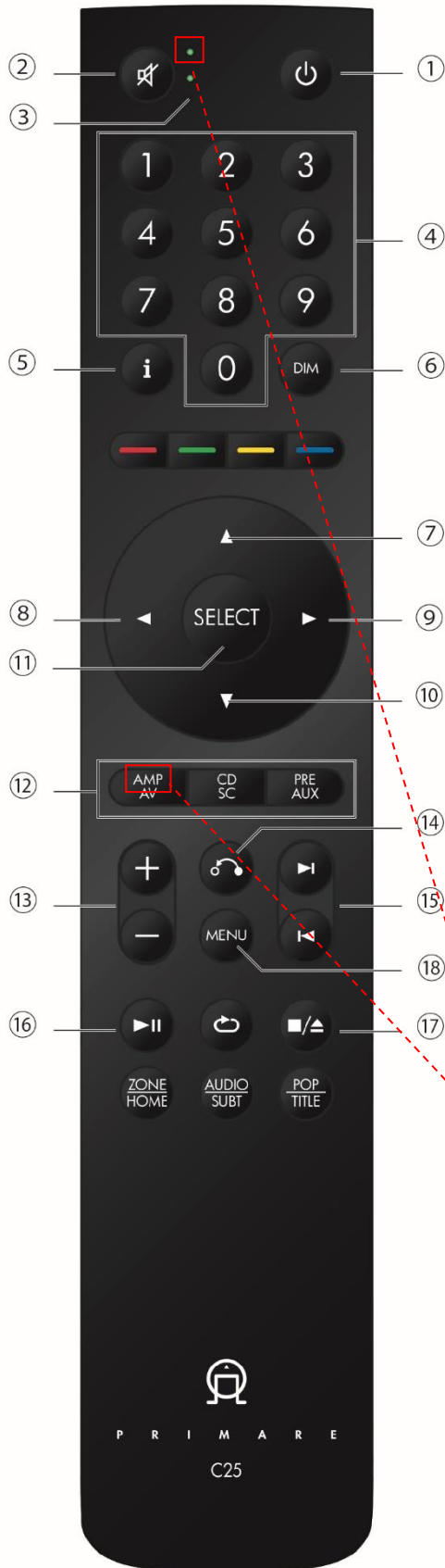
▲/▼ : 音量を変更します。

POWER ON/OFF : 

本機をスタンバイ状態にするか、スタンバイ状態から復帰させます。

リモコン「C25」

※図中の番号は下記の説明文の番号を表しています。



①	POWER ON/OFF	スタンバイモード(待機状態)のOn/Offを行います。ボタン長押しで、全ての PRIMARE 製品をスタンバイモードにすることができます。
②	MUTE	音量をミュート(消音)します。再度押すと復帰します。
③	INDICATOR	リモコンのモードをインジケータで確認できます。 上段：AMP / CD / PRE モードの場合 下段：AV / SC / AUX モードの場合
④	NUMBER	入力またはトラックナンバーを選択します。 2桁の数字を入力する場合は、最初の1桁目をボタン長押しで選択し、その後2桁目を選択します。
⑤	INFO	長押しするとネットワーク情報を表示します。
⑥	DIM	ディスプレイの減光レベル(ディマー)を調節します。
⑦	△	音量を上げるか、設定メニュー内を上に移動します。
⑧	◀	設定メニュー内を左に移動するか、前の入力を選択します。
⑨	▶	設定メニュー内を右に移動するか、次の入力を選択します。
⑩	▽	音量を下げるか、設定メニュー内を下に移動します。
⑪	SELECT	設定メニュー内の項目を選択します。
⑫	MODE	リモコンモードを選択します。下段のデバイスモードを選択する場合は、ボタンを2回押ししてください。 ※ボタンを押すと、リモコン上部のインジケータ(③)が点灯し、現在選択中のリモコンモードが確認できます
⑬	VOLUME	音量を調整します。
⑭	🔗	設定メニューで戻るか、設定の編集を取り消します。
⑮	SKIP	曲のスキップ (▶ : 1曲送り / ◀ : 1曲戻し)、またはボタン長押しで早送り、早戻しを行います。
⑯	PLAY/PAUSE	曲の再生と一時停止を行います。
⑰	STOP	曲の再生を停止します。
⑱	MENU	設定メニューの表示、終了を行います。

【ご注意】

操作を開始する前に、MODE ボタン (⑫) の「AMP/AV」を1回押しして **AMP モード**を選択してください。他の製品を操作する場合は、改めて MODE ボタンからリモコンモードを変更してください。「AMP/AV」をすばやく2回押した場合、AVモードになり、リモコン操作を受け付けなくなってしまいます。「AMP/AV」を一回押しして INDICATOR (③) の上段が光っていることを確認してください。

【ご注意】

リモコン「C25」は、「C24」と互換性がありません。C25から旧製品の操作はできません。またC24から本機の操作はできません。

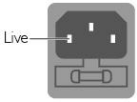
※説明のないボタンはI15では使用しません。

使用方法

■ Connecting Mains Power 接続方法

- (1) 本体を所定の場所に設置します。
- (2) 最初に付属の電源ケーブルを、リアパネルの電源コード差込口 (9) に挿入してください。
その後、壁面の電源コンセントに接続します。付属の電源ケーブル用 2P/3P 変換プラグをご使用ください。

【検電器のご使用について】



AC 電源の位相が音に大きな影響を与える可能性があります。付属の検電器を使用して、AC 電源ケーブルのどのピンが有効になっているかを確認してください。コンセントに検電器を挿して、赤く光る方がプラス（有効）です。光る側に刺さっている AC 電源ケーブルの通電ピンが、リアパネルから見て電源コネクターの左側のピンに接続されていることを確認してください。

【ご注意】

ケーブルを接続または取り外す場合は、必ず本体主電源を OFF にしてください。
また長期間使用しない場合も、本体主電源を OFF にして、電源ケーブルを抜いてください。

- (3) リアパネルの本体主電源 (10) を On にします。
- (4) フロントパネルのインジケータが点灯します。

■ Switching On 起動方法

<本体フロントパネルからの起動>

- (1) フロントパネルの POWER ON/OFF ボタンを押します。
- (2) フロントパネルのディスプレイが点灯し、「PRIMARE」の文字が表示されます。

<リモコンからの起動>

- (1) リモコンの POWER ON/OFF ボタン (1) を押します。
- (2) フロントパネルのディスプレイが点灯し、「PRIMARE」の文字が表示されます。

■ Connect Speakers スピーカーと接続する

… 本機は、1 ペアのパッシブスピーカーに接続するよう設計されています。

- ※ 赤いケーブルをスピーカーと+マークの付いた赤い端子に、黒いケーブルをスピーカーと-マークの付いた黒い端子に接続してください。
- ※ スピーカーケーブルは付属していません。
- ※ 端子はスパードプラグ、バナナプラグまたは裸線タイプのいずれのスピーカーケーブルもお使いいただけます。
- ※ 裸線を接続する場合は、端子のプラグを緩め、端子ボルトの穴に裸線を通し、端子をしっかりとプラグで締めて固定します。

<アナログ出力>

「PRE」… 本機の RCA コネクターの ANALOG OUT 出力（プリアウト）は、ボリュームコントロールが可能のため、アクティブスピーカーやパワーアンプ等と接続することが可能です。

「LINE」… 本機の RCA コネクターの ANALOG OUT 出力（ラインアウト）は、フルボリュームで出力されるため、接続の際はご注意ください。

■ Connect Inputs オーディオ機器と接続する

… 本機は、リアパネルの ANALOG IN に、最大 5 つのアナログソース（内 1 つは MM 型カートリッジ用）を接続できます。

<アナログ入力>

RCA ケーブルを使用し、アナログソースを「A2」～「A5」に接続します。

<MM カートリッジ入力>

トーンアームケーブル（フォノケーブル）を使用し、MM カートリッジを「A1/PHONO」に接続します。
アース線は、上部のグラウンドターミナルに接続してください。

■ Using the Controls 操作方法

(1) 入力モード選択

… 本機は 5 つの入力モードから選択可能です。

<本体フロントパネルからの操作>

ディスプレイに希望する入力モードが表示されるまで、フロントパネル上の SELECTOR ボタンを押します。

<リモコンからの操作>

◀ボタン(⑧)または▶ボタン(⑨)を押して入力モードを切り替えるか、リモコンの 1~5 ボタン(④)のいずれかを押し、対応するモードを直接選択します。

また、各入力モードは初期設定で下記のとおりラベルが付けられていますが、システム内のソースに合わせて独自に別名を付けることが可能です。

詳しくは、「各種設定」の「■ Input Setting 入力モード設定」「(2) ALIAS」をご参照ください。

PHONO	RCA アナログ (PHONO アンプモード)
A2, A3, A4, A5	RCA アナログ

(2) 音量の変更

… 音量は 0（無音）から 99（最大）まで調節できます。

フロントパネルの▲または▼ボタンを押すか、リモコンの VOLUME ボタン (⑬)、△ボタン (⑦)、または▽ボタン (⑩) を押します。現在の音量設定はフロントパネルに表示されます。

(3) フロントパネルディスプレイ

… リモコンの DIM ボタン (⑥) でディスプレイの減光レベル（ディマー）を変更できます。

<DIM ボタンからの画面明度切替>

リモコンの DIM ボタン (⑥) を押して、ディスプレイの減光レベル（ディマー）を 3 段階+OFF から選択できます。ディスプレイをオフにしても、コントロールを操作した際は一時的に画面が表示されます。

【オートディマー機能】

本機は、一定時間使用しない場合、自動的にディスプレイを減光するオートディマー機能を搭載しています。オートディマー機能は初期設定で 10 分に設定されています。自動減光までの時間は、複数の設定から選択することが可能です。詳しくは、「各種設定」の「■ General Setting 一般設定」「(3) AUTO-DIM」をご参照ください。

各種設定

■ Display the Setting Menu 設定メニューの表示

- (1) フロントパネル、またはリモコンを使用して、本機の設定を確認または変更することができます。フロントパネルの▲ボタンと▼ボタンを同時に押すか、またはリモコンのMENUボタン(Ⓢ)を押すと、設定メニューが表示されます。メニューを終了することもできます。



- (2) 各種ボタンを押して、設定メニュー項目を選択します。現在選択中の項目が白いハイライトで表示されます。

<本体フロントパネルからの操作>

▲/▼	メニュー項目の移動、または設定値の調整に使用します。
SELECTOR	設定を選択、または編集した設定を保存する。 長押しで、一つ前の項目に戻る、または編集した設定をキャンセルする。

<リモコンからの操作>

△ ◀ ▶ ▽	メニュー項目の移動、または設定値の調整に使用します。
SELECT	設定を選択、または編集した設定を保存する。
↶	一つ前の項目に戻る、または編集した設定をキャンセルする。

- (3) フロントパネルの▲ボタンと▼ボタンを同時に、またはリモコンのMENUボタン(Ⓢ)を押して、設定メニューを閉じます。

■ Input Setting 入力モード設定

- (1) INPUT … 現在選択中の入力モードの、設定を表示しています。別の入力モードを設定する場合、設定したい入力モードに変更してください。それに続く項目は、設定する入力モードに応じて変わります。



- (2) ALIAS … 現在選択中の入力モードの、モード名称を変更します。項目選択後、入力したい文字を選択して、以下の手順でモード名称を決定します。

- (a) ALIAS を選択すると、RENAME INPUT メニューが表示されます。
(b) フロントパネルの▲、▼ボタン、またはリモコンの◀、▶ボタン(Ⓢ,Ⓣ)を押して、文字を選択します。
(c) フロントパネルのSELECTORボタン、またはリモコンのSELECTボタン(Ⓤ)を押して決定します。
(d) 文字を入力する度に、下記のオプションを選択します。

ADD NEW CHARACTER : 引き続き、次の文字を入力します
CONFIRM '●' : 「● (入力したテキスト)」を新しいモード名称として登録します
CLEAR ALIAS : 入力したモード名称をキャンセルします

(3) STATUS … 現在選択中の入力モードの、ENABLED（有効：初期設定）、DISABLED（無効）を選択します。
無効を選択した場合、入力切り替え時に表示されなくなります。

(4) AUTO SENSE … 現在選択中の入力モードについて、自動的に入力モードを選択する機能を有効にします。
SELECT : 本機が起動している場合、音声信号を検出した入力モードを自動的に選択する
WAKE+SELECT : 音声信号を検出した場合、スタンバイモードから自動的に復帰して、音声信号を検出した当該入力モードを自動的に選択する
OFF : 自動入力モード選択を使用しない（初期設定）

【ご注意】

本機の A1/PHONO 入力については、「SELECT」は使用できますが、「WAKE+SELECT」は使用できません。

【オートセンス機能】

本機は、音声信号を検出した入力モードを自動的に選択するオートセンス機能を搭載しています。「SELECT」または「WAKE+SELECT」を選択している場合、新たに入力を自動切り換えするためには、1 分間のインターバル（信号を受信していない状態）が必要となります。自動で切り替わらない場合は、少し時間を置いてください。

(5) VOLUME … 現在選択中の入力モードについて、ボリューム設定の VARIABLE（可変）、FIXED（固定）を選択します。
VARIABLE（可変）：音量を調整可能（初期設定）
FIXED（固定）：0dB ゲインで、ボリューム設定 66 に相当する固定音量を出力
FIXED を選択すると、大音量の警告が表示されます。続行するには「YES」を選択してください。
FIXED を取り消す場合は「NO」を選択してください。

【ご注意】

ボリューム設定を「FIXED（固定）」に設定した場合、大きな音が出ますので、ご注意ください。
また「**■ Audio Setting オーディオ設定**」の **MAXIMUM VOLUME 設定も無効になります。**

【ご注意】

ボリューム設定を「FIXED（固定）」に設定した場合、最大音量で再生されます。ボリューム機能がないオーディオ機器とは接続しないでください。FIXED にしたことで、スピーカー等の製品が破損した場合は保証の対象にはなりません。自己責任で行ってください。

【Pass-through 機能】

ボリューム設定を「FIXED（固定）」に設定することで、本機は SSP（Surround Sound Passthrough）として機能し、マルチチャンネルシステム設定のアンプとして使用することができます。

(6) INPUT GAIN … 現在選択中の入力モードについて、入力ゲインを、-30dB~-1dB、0dB（初期設定）、+ 1dB~+ 30dB から選択し、設定します。各入力の音量の差をなくすことができる便利な機能です。

【ご注意】

ゲイン設定が高すぎる場合、音質に歪み(クリッピング)が生じる恐れがあります。

【ご注意】

ボリューム設定を「FIXED（固定）」に設定した場合、入力ゲイン設定は 0dB に固定され、入力ゲイン設定画面に「FIXED」と表示されます。

■ Audio Setting オーディオ設定

BALANCE : バランス … 00LR-9 (左端)、00LR00 (中央 : 初期設定)、-9LR00 (右端) のバランスを調整できます。

STARTUP VOLUME : 起動ボリューム … 通常の起動ボリュームを 0 から 60 の間に設定します。初期設定は 20 です。

MAXIMUM VOLUME : 最大音量 … 最大音量の制限を 0 から 99 の間で設定します。初期設定は 99 です。

MUTE VOLUME : ミュート音量 … ミュート時の音量を設定します。0 (初期設定) から 30 の間で選択できます。

現在の音量が指定した MUTE ボリュームより小さい場合、ミュートを押し、音量が 0 に設定されます。

■ General Setting 一般設定

(1) SHOW INPUTS … 表示する入力モード形式を切り替える機能

ALL : 全ての入力モードを表示 (初期設定)

WITH SIGNAL : 信号を検出している入力モードだけ表示

(2) FRONT PANEL … フロントパネルのボタンからの操作をロックする機能

UNLOCKED : フロントパネルのボタンから操作可能 (初期設定)

LOCKED : フロントパネルのボタンから操作不可能。設定を UNLOCKED に戻す場合は、リモコンから設定メニューを開いて再度 UNLOCKED を選択するか、本体の電源を数秒落としてください

(3) AUTO-DIM … 操作が行われなくなってから、一定時間後に自動的にディスプレイを減光する機能

AFTER 1MIN : 約 1 分後に自動減光する

AFTER 5MIN : 約 5 分後に自動減光する

AFTER 10MIN : 約 10 分後に自動減光する (初期設定)

OFF : 自動減光しない

(4) STANDBY SETTINGS

… AUTO-STANDBY : ユーザーの操作または音源から音声がいない場合、一定時間後に自動的にスタンバイモードにする機能

AFTER 10MIN : 約 10 分後に、自動的にスタンバイモードに移行する

AFTER 15MIN : 約 15 分後に、自動的にスタンバイモードに移行する

AFTER 20MIN : 約 20 分後に、自動的にスタンバイモードに移行する (初期設定)

OFF : オートスタンバイ機能を使用しない

【オートスタンバイ機能】

本機は、ユーザーの操作または音源から音声がいない場合、自動的に本体をスタンバイモードにするオートスタンバイ機能を搭載しています。オートスタンバイ機能は初期設定で 20 分に設定されています。故障ではありませんのでご安心ください。

(5) FACTORY RESET … 本体を工場出荷時の初期設定にリセットする機能。選択すると、再度確認画面が出ますので、

本体をリセット(初期化)する場合は「YES」を、キャンセルする場合は「NO」を選択してください。

※ ファクトリーリセットは、フロントパネルの POWER ON/OFF ボタンを、10 秒間長押しすることでも可能です

(6) FIRMWARE VERSIONS … インストールされたファームウェアのバージョンを確認します。

※ ファームウェアのバージョン確認は、フロントパネルの POWER ON/OFF ボタンを、長押しすることでも可能です

トラブルシューティング

不具合が疑われる場合は、まずは全ての接続をご確認ください。また本機以外の原因も考えられますので、接続した機器の使用方法もあわせてご確認ください。下記は、一般的な問題症状と考えられる解決策になります。下記対策後も動作に変化が見られない場合は、お買い上げいただいた販売店または株式会社ナスベックまでお問い合わせください。

症状	原因	対策
1.電源が入らない。	電源ケーブルが正しく接続されていない。	電源ケーブルを奥までしっかり差し込んでください。
	本体主電源が Off になっている。	リアパネル右の本体主電源を On にしてください。
2.スピーカーから音が出ない。	オーディオ信号が正しく入力/出力されていない。	全ての接続を確認してください。
	スピーカーが正しく接続されていない。	リアパネルのスピーカー接続を確認してください。
	入力モード選択が間違っている。	正しい入力モードを選択してください。また、再生中の入力ソースを再度ご確認ください。
	本体がオーバーヒートしている。	本体を冷ましてください。本体周りの風通しを確保していただくか、再生音量を下げてください。
3.出力される音がとても小さい。	本体がミュートになっている。	音量設定を確認の上、リモコンの MUTE ボタンを押して、ミュート状態を解除してください。
4.スピーカーの低音出力が弱い、または出ていない。	スピーカーが逆相で接続されている。	スピーカー接続の極性を確認してください。
5.スピーカーから雑音が入る。	接続に問題があるか、ケーブル不良が発生している。	全ての接続、極性を確認してください。違うケーブルに交換してみてください。
6.リモコンが作動しない。	電池が切れている。	リモコンの電池を交換してください。
	蛍光灯や他の電気機器等の妨害にあっている。	インバーター式の蛍光灯をご使用の場合、信号を妨害している可能性があります。蛍光灯を消して、再度お試しください。
	位置や角度に問題がある。	本体から遠いまたは角度が急な場合、信号が届かない場合があります。位置や角度を変えて、再度お試しください。
7.エラーメッセージが表示される。	ディスプレイに「DC ERROR」と表示される。	以下をお試しください。 1) 本体主電源を切り、スピーカーの接続を外します。これで問題が解決した場合はスピーカーの配線を確認してください。 2) 問題が解決しない場合は、再度本体主電源を切り、全ての入力接続を外します。これで問題が解決した場合は、入力機器が故障している恐れがあります。 3) それでも問題が解決しない場合は、お買い上げいただいた販売店または株式会社ナスベックまでお問い合わせください。
	ディスプレイに「OVERHEAT」と表示される。	本体が過熱していることを示しています。本体主電源を切り、本体を数分間休ませてください。また本体周りに十分な換気があることを確認してください。
	ディスプレイに「OC ERROR」と表示される。	異常に大きな音量や、接続されているスピーカーの故障が原因で、本体が過度な電流を使用していることを示しています。本体主電源を切り、再度電源を入れてください。

Specifications

出力	60W + 60W(8Ω) / 100W + 100W(4Ω)
周波数特性	20Hz - 20kHz, -0.7dB
S/N 比	アナログ > 97dB, AES17 Filter / PHONO > 78dB
THD+N	<0.02%, 20Hz-20kHz, 10W at 8Ω
アナログ入力	アンバランス RCA × 5 (「I15 ANALOG」は内 1 系統=MM Phono× 1) / MM PHONO × 1
入カインピーダンス	アンバランス RCA 15kΩ
アナログ出力	プリアウト RCA × 1 / ラインアウト RCA × 1
出カインピーダンス	アンバランス RCA 150Ω
出力ゲイン	16.5dB(PRE) / 0dB(LINE) / 40.5dB, 1kHz(PHONO)
スピーカー出力ゲイン	42.5dB / 83dB(PHONO)
負荷抵抗	47kΩ
負荷容量	150pF
RIAA Correction	± 0.2dB
コントロール端子	RS232 / Trigger 出力 / IR 入出力
消費電力	スタンバイ時 < 0.5W / アクティブ時 < 20W
サイズ	W350 × D329 × H73 mm (突起部含む) W350 × D310 × H73 mm
重量	6.5 Kg

Primare は、常により洗練されたデザイン・設計を目指し、製品の改善に努めています。
そのためデザイン、性能等、事前の予告なしに変更される場合がございます。
また本製品の輸送に必要となる購入時の箱・緩衝材は、必ず保管しておいてください。

保証

本機の保証は株式会社ナスペックが行います。

詳しくは、株式会社ナスペックの HP/サポートページ(<http://naspecaudio.com/support/>)をご確認ください。

修理の際は、販売店または株式会社ナスペックにお問い合わせください。

※修理についてのご質問・送り先は、本社/サービスセンターにてお受け致しております。

詳しいお問い合わせは **Primare** 日本輸入総代理店 株式会社ナスペックまで




株式会社ナスペック
〒500-8386 岐阜県岐阜市藪田西 1-4-5

HP : <http://naspecaudio.com>

TEL : 058-215-7510

FAX : 058-268-7118

 : 0120-932-455

E-mail : support@naspecaudio.com

2023.4.25 (Ver 1.03)